

とよはし 市議会 だより



みんなの？を、みんなの！に



6月定例会の概要	02
審議結果	03
一般質問	04-17
委員会の調査・研究事項	
次回定例会開催予定	18



6月定例会の概要

とよはし市議会では、**6月** **9月** **12月** **3月** の年4回、定例会が開催されます。

6月定例会では、 豊橋市のこんなことが決まりました。

- 概要**
- 一般会計で約11億2480万円、
総合動植物公園事業特別会計で
1050万円の増額を決定。
- 主な内容は次のとおりです。
- ・障害福祉サービス事業所等および届出保育施設や民営児童クラブに対し、市独自で光熱費高騰分を支援
 - ・「ラーゲーションの日」モデル事業の実施
 - ・令和5年6月台風に伴う大雨に係る災害の復旧
 - ・アカモスの調査研究および生息域外保全



- 概要**
- 地区市民館の名称を「生涯学習センター」に変更します。また、名称変更に伴い、案内標識等の取り替えを行います。

予算の補正を
行います

地区市民館の
名称を変更します

6
月
定
例
会

議案審議

会期 6月12日～26日（15日間）

6月定例会の議案は
市長提出議案…17件
議員提出議案…3件
合計20件

陳情 15件の陳情を受理しました。

- ・国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情
- ・最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情
- ・公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
- ・住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
- ・地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
- ・保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情
- ・介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を当たり前にすることを求める意見書の提出を求める陳情
- ・「1年単位の变形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情
- ・瓶牛乳使用を紙パックに変更しないことを求める陳情
- ・学校給食費無償化に関する陳情
- ・給食費の無償化延長を求める陳情
- ・「まちなか図書館」と市内各種施設との情報の連携についての陳情
- ・豊橋市図書館年間来館者数180万人達成に向けて、こども図書と分館のサービス向上を求める陳情
- ・まちなかから豊橋版シティズンシップ教育のスタートを願う陳情
- ・生涯にわたる学びの喜びをひとりも残さず届ける（SDGs目標4）達成のため「本のある場所（公・私）の市内マップ」作成を願う陳情

審議結果

■ 全会派一致で原案可決等された議案 ■

補正予算	・ 令和5年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第1号・第2号)
条例	・ 豊橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 ・ 豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例 ・ 豊橋市火災予防条例の一部を改正する条例
その他	・ 工事請負契約締結について(1・2号炉維持整備工事(令和5年度その2)/幸小学校北校舎長寿命化改良工事/栄小学校北・南校舎長寿命化改良工事(詳細設計付)/飯村小学校体育館・校区市民館長寿命化改良等工事) ・ 損害賠償の和解及び額の決定について(公務災害に係る損害賠償) ・ 土地区画整理に伴う町の区域の設定について ・ 人権擁護委員候補者の推薦について ・ 農業委員会委員の任命について
議員提出	・ 名豊道路(豊橋バイパス・豊橋東バイパス完全4車線化)建設推進に関する意見書 ・ 学校給食費の無償化を求める意見書

■ 賛否が分かれた議案 ■

○=賛成 x=反対

件名	議決結果	会派名()内は所属議員数										
		自由民主党(19)	公明党(5)	日本共産党(3)	まちなみフォーラム(3)	紘基会(1)	豊橋だいき会(1)	みんなの議会(1)	れいわ新選組豊橋(1)	夢響き合う議会(1)	になる会(1)	
補正予算	・ 令和5年度豊橋市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	
	・ 令和5年度豊橋市一般会計補正予算(第4号)	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	
条例	・ 豊橋市市税条例等の一部を改正する条例	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 豊橋市民館設置及び管理に関する条例及び豊橋市大清水まなび交流館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	
議員提出	・ 設楽ダム建設事業の促進に関する意見書	○	○	x	○	x	○	x	x	○	○	

市政の課題は？

一般質問

(6月定例会では27人が一般質問を行いました。)



一般質問とは、市議会議員が市長などに対して、市の考え方や市民生活に関わる大切な内容について聞いたものです。豊橋市では年4回の定例会でのみ一般質問を行うことができます。

市議会だよりでは、本会議の質問・答弁の要旨を、各議員が選んだ1項目ずつ掲載しています。

詳しい内容は市議会ホームページから会議録や録画中継をご覧くださいだけです。

「新型コロナウイルス」の5類移行に伴う対応について



日本共産党豊橋市議団 鈴木みさ子 議員

動画でチェック!!

問 5月8日から「新型コロナウイルス」が、新型インフルエンザ等感染症(2類相当)から5類感染症に移行された。移行に伴う主な変更点について聞きたい。

答 今後は幅広い医療機関での対応になりますが、引き続き医師会等とも連携していきます。

医療費やPCR検査等は保険診療に変更となり、公費負担は終了しますが、急激な負担増が生じないよう期限を区切った支援を継続していきます。

問 流行状況の把握については、全ての患者数を把握する体制から、市内12箇所の定点医療機関からの報告へと変更となります。保健所は患者の外出自粛を求めず、濃厚接触者を特定しなくなり、外出を控えることを推奨する期間が定められています。

答 移行に伴いさまざまな不安を感じる市民も多いと考えるが、市民への対応について聞きたい。

問 受診相談センターを継続するとともに、ワクチン接種につ

いては引き続き全額公費負担で実施し、ワクチンコールセンターを継続するなど、市民に寄り添った対応を行っていきます。

問 移行による変更点を踏まえた感染症対策の認識について聞きたい。

答 流行状況に応じて自主的に感染対策を講じていく感染症の一つになったと考えますが、これまでどおり、基本的な感染対策を行っていただきたいと考えています。

問 高齢者施設への対策について聞きたい。

答 高齢者施設等への従事者を対象としたスクリーニング検査を継続するほか、感染の広がりを把握した場合は、提携する医療機関と相談し、検査が必要と判断した場合は、抗原検査キットをお渡しして入所者が検査できる体制を確保しています。

その他の質問項目

・台風2号に伴う大雨による被害と対策について

一 般 質 問

小中学校における
災害時の対応について

問 台風2号の大雨に伴う学校の対応と判断について聞きたい。

答 登校前に大雨警報・洪水警報が発令されてきました。教育委員会の定める災害時の対応規定では、原則として平常どおり授業を行い、状況に応じ、授業の有無、開始時刻を決定するとされています。今回休校の判断をした学校はありませんでした。

問 災害情報を踏まえた対応について聞きたい。

答 警戒レベル3または4の場合に、学校の取るべき標準的な対応を各学校へ周知徹底を図ることが必要であったと認識しています。

問 学校と教育委員会の役割をどのように整理しているのか聞きたい。

答 学校保健安全法において、危機管理マニュアルの作成が各学校に義務付けられています。これは、校区や学校によって、土地の高さや河川の有無などの地理的特徴の違いなどがあり、



日本共産党豊橋市議員
齋藤 啓 議員



動画で
チェック!!

それらを反映した計画が必要であるためです。教育委員会としては、防災担当部局から得られる気象情報などを各学校へ適切に提供し、その判断に資する役割を果たせるよう、ふだんから連携体制を整備していくことが重要と考えています。

問 学校の教職員が災害に対して適切に判断するための取り組みについて聞きたい。

答 判断するためには、正確な情報を迅速に得ることが必要で、気象情報や地域の被害状況、通路の状況をつかむことが欠かせません。学校では、防災ラジオで受信した情報の校内での共有方法、校区自治会との連携体制などについて定期的に確認しています。今後、校長に対して、校長会議などを利用して危機管理意識の高揚を図っていきます。

その他の質問項目

・「自衛官募集に係る情報の提供」について
・多目的屋内施設の整備について

本市の地域猫活動について

問 市営住宅での地域猫活動の対応について聞きたい。

答 市営住宅では動物の飼育が禁止されていますが、飼い主のいない猫によるふんやいたずらなどの被害、餌やりをする方と住民とのトラブルに関する苦情が寄せられていました。餌やりのルール、トイレの設置、ふんの始末等の適正な管理、住民の理解を得ることを条件に不妊去勢手術を行うことが、飼い主のいない猫を徐々に減らすことにつながるかと判断し、施設管理者として地域猫活動に対応しました。

問 猫に関わるトラブルの状況と、地域猫活動の広がりについて聞きたい。

答 猫に関する相談は年間1000件前後で推移していましたが、ここ2年に関しては約900件と減少傾向にあります。活動の広がりについては、地域猫不妊去勢手術補助金の活用団体数が5年間で3倍に増え、



とよはし みんなの議会
古池 もも 議員



動画で
チェック!!

活動地域も市内全体に広がってきていることから、一定の効果を上げていると考えています。

問 不妊去勢手術の申請に係る課題と対応について聞きたい。

答 これまでも、申請時に自治会長の署名や不妊去勢手術をする猫の写真を必要にするなど、手続きの改善や運用の見直しに努めてきました。利用者からは、予算の充実を求める意見や、更なる運用の緩和を求める意見などを頂いています。

問 動物愛護センターの機能の中での不妊去勢手術と、問題解決に向けた市の考えを聞きたい。

答 現在整備を進める動物愛護センター内で不妊去勢手術を行う予定であり、利用者の負担軽減など、地域猫活動を後押しし、猫の引き取り数の減少や野良猫によるトラブル解決の有効な手段になると考えています。

その他の質問項目

・本市の重層的支援体制の整備と地域づくりについて

一 般 質 問

防犯カメラ設置推進

について

問 防犯カメラの設置が伸び悩んでいる要因について聞きたい。

答 設置費用の一部や維持管理費用が自治会の負担となっていることが要因の一つであると認識しています。

問 市の管理として設置していく考えがあるか聞きたい。

答 現在、市による設置が進んでいる他市の設置手法等について調査を始めており、その効果を確認しつつ、検討を進めていきたいと考えています。

問 増設に当たり、まずは通学路への設置を進めてはどうかと考えるが、認識を聞きたい。

答 人の目の役割を果たす防犯カメラの設置箇所として、通学路は弱者である子どもたちを不審者や犯罪から守るために優先度の高い場所であると認識しています。

問 人口1000人当たりの設置台数は、岡崎市は約5台、豊田市は約4台、豊橋市は約0.5台と、同規模の中核市と比較し



自由民主党豊橋市議団

伊藤哲朗 議員



動画でチェック!!

ても少ないが、本市の防犯に対する認識を聞きたい。

答 防犯カメラの設置は防犯力を高め、抑止をしていくために効果的な手段の一つだと認識しています。

数年間かかる計画になると思いますが、効果をしっかりと確認した上で設置計画を立てていくことが重要であると思っています。設置し増やすことだけではなく、啓発や自主防犯活動など、市民の皆さんの意識を更に向上していただくことなどを含めた総合的な防犯活動を展開することで、地域防犯力を更に高め、安全で安心なまちづくりを目指していきたいと考えています。



その他の質問項目
・ベルマーク日本一プロジェクトについて

台風2号に伴う大雨の

対応や諸課題について

問 小中学校での今回の大雨対応における課題認識について聞きたい。

答 未曾有の大雨による河川の氾濫への対応について、学校として経験が乏しく、保護者による児童生徒の引き取りの際、学校周辺の交通整理が十分でないことで渋滞が発生したり、雨が強い状況での下校となったなどの課題があったことも認識しています。

問 今後は暴風警報が発令されていなくても休業を含めた大雨への柔軟な対応が必要と考えるが、認識を聞きたい。

答 近年見られるゲリラ豪雨により、雨による被害が心配されるケースが増えてきています。警報が出ないような雨であっても、川沿いや急斜面など、地域の特性によっては配慮が必要な場面が考えられます。

そういった場合は、現状においても、授業を切り上げて早めの下校措置を取ったり、状況に



自由民主党豊橋市議団

山本賢太郎 議員



動画でチェック!!

応じて学校待機をしたりするなどの対応をしています。今回の件を踏まえ、より一層大雨に対する危機管理意識の高揚が必要不可欠であると認識をしています。

状況を的確に捉え、迅速かつ臨機応変な対応ができるよう、校長に対し働き掛けていきます。

問 迅速かつ的確な情報発信と情報の確度を高めるためには専門家の活用が有効と考えるが、「気象防災アドバイザー」の導入について聞きたい。

答 気象防災アドバイザーは、地域に精通した気象の専門家、災害時の避難情報等の助言や地域防災力強化への取り組みの支援を行うものです。頻発する大規模な災害時に市民に有効な情報発信するための手段として生かすことができるものとして評価をしているところです。

その他の質問項目
・定住・移住政策の取り組みや今後の考えについて

本市の義務教育における 文化芸術活動について



夢響き合う議会
鈴木智子 議員

動画で
チェック!!



問 子どもたちの情操教育の重要性に関する考え方について聞きたい。

答 学習指導要領の総則2(2)には、「多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること」とされており、情操教育については、学校教育活動全体で取り組むものと捉えています。

本市としても、子どもたちの感性を磨き、豊かな創造力を養うために情操教育を行うことは重要であると考えています。

問 現状、中学校での芸術鑑賞会が圧倒的に少ないが、今後、全ての小中学校で行うための改善策の見通しについて聞きたい。

答 バス代の問題や年間計画に位置付けられない問題などで、全ての小中学校が一斉に進められないという状況もあります。

教育委員会としては、子どもたちが同じ体験ができるように、校長会議等で年間計画に位置付

けていくよう発信していきます。

問 文化芸術活動と双壁であるのは音楽や美術の授業である。音楽教員がいない学校では、

専門的な音楽の授業を行うことが難しいと思うが、どのような対応をしているのか聞きたい。

答 音楽の免許を有する教員が配置されていない13校のうち1校については、近隣の中学校に在籍する音楽の免許を有している教員が、小学校に出向いて教える時間をつくっています。

全く音楽の教員がいない学校については、ピアノの代わりとなるCDを使用して授業を行っているのが現状です。

その他の質問項目

・本市の文化芸術に触れる機会の創出について

本市独自の奨学金における 学生支援策について



自由民主党豊橋市議団
二村真一 議員

動画で
チェック!!



問 本市には、奨学金における学生支援策として、豊橋市未来応援奨学金や豊橋市奨学金返還支援制度がある。

それぞれの取り組みと活用状況について聞きたい。

答 豊橋市未来応援奨学金は、昨年度までの6年間で66名が活用し、利用した学生からは、本奨学金を活用することで、挑戦したかったことに全力で取り組むことができたといった声が寄せられています。また、既に卒業した方の多くが進学前に希望していた職業に就くことができていると認識しています。

豊橋市奨学金返還支援制度は、昨年度までの5年間で42名の方に補助金を交付し、登録事業者数は51社となりました。実際に補助金をご利用いただいた方からは、補助金が就職への後押しになったとのご意見や補助金額の拡充を求めるとご意見を、登録事業者からは、説明会で自

分の会社をアピールできるようになったとのご意見を頂いています。

問 それぞれの課題を踏まえた今後の方向性について聞きたい。

答 豊橋市未来応援奨学金については、支援対象者の選抜方法などを課題として認識しています。国、県などの動向を注視するとともに、豊橋市奨学金審査会での意見や制度利用者の声を聞きながらより良い制度となるよう勉強していきます。

豊橋市奨学金返還支援制度については、事業所および学生への周知の徹底が課題であり、多角的視点からの評価・検証が必要だと考えています。補助金額や補助期間の検証を行い、今後本制度が一層活用され、地域産業の活力向上につながるよう努めていきます。

その他の質問項目

・公共交通における自動運転技術の普及に向けた取り組みについて

一 般 質 問

リニア中央新幹線開業の 本市への影響について

問 リニア中央新幹線開業による影響の認識を聞きたい。

答 リニア中央新幹線が開業し、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が一体化した巨大経済圏が形成されることで、我が国全体で人の流れや産業構造が変わる大きな転換期を迎えることとなります。本地域においても、東海道新幹線のダイヤが、ひかり号・こだま号を中心としたものに大幅に改正されることが見込まれるなど、地域全体に大きな影響を及ぼすと考えています。

この機会を確実にチャンスとして捉えるため、産学官が一体となって地域資源を生かしたまちの魅力向上に取り組み、選ばれたまちをつくり上げていくことが重要だと考えています。民間企業であるJR東海がメリットになるとする人の流れをつくり出すまちづくりをすることが不可欠だろうと思います。本市はリーダーシップを発揮して、さまざまな主体と連携した取り組み



自由民主党豊橋市議団
伊藤篤哉 議員



動画で
チェック!!

みを積極的に推進していきます。
問 ひかり号増便に向け、具体的にどのように取り組んでいくのか聞きたい。

答 一般社団法人ほの国東三河観光ビューローなどが中心となり、リニア開業前の段階から東三河のブランディングやプロモーション強化などを通じて魅力的な観光地域づくりを行い、新幹線の利用者増加につなげていきたいと考えています。

また、現在豊橋公園に計画している多目的屋内施設をきつかけとしたまちのにぎわいづくりも、豊橋駅を利用して市内外から本市に訪れていたいただくことにつながるものと考えています。

その他の質問項目

- ・ずっと愛され選ばれ続けるための豊橋のまちづくりへの認識と対応について
- ・日本一元気な愛知をつくり日本の未来をつくることを掲げる（大村）愛知県政との連携への認識と対応について

豊橋市家庭教育支援条例 について

問 家庭教育支援条例は、旧統一教会が後押しをしていたとニュース等で飛び交っている。本条例は、保護者が親として学び、成長していくこと及び子どもが将来親になることについて学ぶことを促すとあるが、多様性を受け入れている現代社会において、行政が一律の価値観を押し付け、介入するべきではない。

本条例に対する市の認識と、本条例と旧統一教会が関わっている認識があるか、聞きたい。

答 家庭教育支援条例では、家庭教育の支援に関し、基本理念が定められており、市は定められた責務に努めることで、本条例の目的である子どもたちの生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成、心身の調和のとれた発達に寄与することが求められているものと認識しています。

また、市としては、旧統一教会との関係性は一切認識していません。



れいわ新選組豊橋
菅谷 竜 議員



動画で
チェック!!



その他の質問項目

- ・学校等の環境衛生における新型コロナウイルス対策について
- ・本市と企業等との包括連携協定について

本市の生態系を守る 取り組みについて



自由民主党豊橋市議団

石河貫治 議員



動画で
チェック!!

問 特定外来生物による被害状況の認識について聞きたい。

答 在来種の駆逐により、生態系へ影響を与えている状況が確認されており、駆除にしっかりと取り組むことが必要であると認識しています。

問 条件付特定外来生物に対する現状認識について聞きたい。

答 カメ類及びザリガニ類は、その多くが条件付特定外来生物のアカミミガメ及びアメリカザリガニであるものと判別でき、地元高校生と連携してアカミミガメの駆除と啓発を行っていません。教育委員会とも連携し、小中学校に対し、法令を遵守した条件付特定外来生物の飼養等について周知を図っています。

問 特定外来生物の駆除に対する取り組みについて聞きたい。

答 今年度より、ノートリアおよびアライグマの駆除に係る予算を確保しており、国の交付決定がされ次第、早急に進めていきたいと考えています。

問 条件付特定外来生物に対する本市の今後の対応を聞きたい。

答 広報とよはしで啓発を図り、保育所等を通じて周知するとともに、学生や市民団体等と連携して、現場での捕獲と専門家による解説を主としたイベントの開催を予定しています。

問 生態系を守ることに對しての考え方について聞きたい。

答 国が提言している、入れない、捨てない、掘げない、の外来種被害予防三原則を基本の考えとし、若い世代が生態系保全活動の必要性を理解し、自ら参加してもらえよう支援し、担い手を育成していくことが重要と考えています。汐川干潟や葦毛湿原など、貴重な自然の財産を守り、将来を担う子ども世代に残すため、持続可能な生態系の保全を着実に進め、未来にかなげたいと考えています。

その他の質問項目

・本市におけるコロナ後の中小企業支援について

ヘルプマークの現状と 今後の活用について



自由民主党豊橋市議団

川原元則 議員



動画で
チェック!!

問 災害時や緊急時の備えとして、避難所等へ備蓄しておくという考えについて聞きたい。

答 現状では、避難所等への備蓄は行っていませんが、避難所でサポートを受けやすくすることとは大切であり、ヘルプマークの備蓄も有効な手段の一つであると認識していますので、ヘルプマークの備蓄を検討していきたいと思えます。

問 周知状況のアンケートの実施について、現状どうであるのか聞きたい。

答 現状において周知状況のアンケートは実施していませんが、さらなる普及啓発に向けて、毎年実施している市民意識調査や、インターネットモニターを活用してアンケートを実施することを検討していきます。

問 学校へのヘルプマークの周知ポスターの掲示についての考え方を聞きたい。

答 ポスター等の目に入る分かりやすい手段で周知することも

大切なことだと思えますので、教育委員会と連携しながら具体的な周知方法を考えていきます。

問 支援する側の活動としてのオレンジスマイルプロジェクトの考え方について聞きたい。

答 愛知県身体障害者福祉団体連合会が行っているオレンジスマイルプロジェクトは、助け合いのできる社会の実現を目指し、身体障害者の周りの人たち側が、私がヘルプしますよというようにアピールできるプロジェクト活動であると認識しています。

こうした活動の考え方は、本市の障害者福祉計画の理念である、障害のある人もない人も互いに尊重し、支え合う地域社会の実現にも沿ったものであると考えています。

その他の質問項目

・令和5年執行の豊橋市議会議員一般選挙における投票率向上に向けた取り組みについて

一 般 質 問

就学援助について

問 就学援助の実施状況について聞きたい。

答 就学援助受給者数の令和4年度の見込みは、児童生徒合わせて4466人で、全児童生徒数の14・65%に当たります。

この割合は、令和3年度の数値ですが、愛知県全体の平均10・48%より高く、おおよそ全国平均の14・28%と同じ状況です。

受給率が県の平均より高い要因は、本市の所得水準や、該当世帯からの申請率が高いことなどが考えられます。これは、全小中学校で就学援助制度のお知らせを配布していることや、市のホームページにも掲載し周知徹底を図っていることなどが要因だと考えています。

問 就学援助における所得基準の考え方について聞きたい。

答 生計を同じくする世帯全員の所得合計額が、家族の人数によって定められた生活保護基準額の約1・3倍の所得額を下回る場合に受けられる制度です。



になる会
諸井菜々子 議員

動画で
チェック!!



全国的に生活保護基準額の約1・3倍としている自治体が多いことからこの率を基準とし、経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者への十分な支援と、本市の財政的な状況を勘案して決定しています。

問 今後、支援対象を拡大する考えについて聞きたい。

答 現在、所得基準額の引き上げによる対象者の拡大予定はありません。なお、援助額については、さまざまな状況を見る中で改善を図っています。



その他の質問項目
・不適切保育について

民間事業者の障がい者雇用のための支援について

問 令和8年に向けて、国および地方公共団体、一般事業主に對する障がい者の法定雇用率が段階的に引き上げられていく。

民間事業者が障害のある方を雇用するに当たっては、障害の程度に合わせた設備改善や働き方の工夫が必要である。法定雇用率の数字だけを周知するのではなく、実際に障がい者雇用を民間でも促進してもらうため、本市としてどのように取り組むのか聞きたい。

答 既に国や県において、障がい者を雇用した際や職場の作業施設等を設置した際の助成金制度があることから、市内の事業所から障がい者雇用に関するお問い合わせがあつた際には、これらの情報を提供するほか、本市のホームページ上でも掲載し、周知を図っているところです。

本市独自の取り組みとしては、障がい者はもちろん、子育て世帯や高齢者、外国人などを含めて、誰もが働きやすい職場



まちフォーラム
久保大司 議員

動画で
チェック!!



づくりを目的として、トイレ・更衣室などの職場環境のハード整備を行う事業者に対して支援を行つてきています。

今年度からは、子の看護休暇の対象を小学生まで拡大するなどの労働関係法令を上回る就業規則の見直し事務等に係る経費に對して、助成率2分の1、助成金額の上限を10万円として、ソフト面からも支援を行つていくところです。



その他の質問項目
・障害者の法定雇用率改定に伴う豊橋市総合評価入札制度での評価項目「障がい者の雇用」の配点対応について

本市における行政手続きの効率化について



自由民主党豊橋市議団 近藤修司 議員



動画でチェック!!

問 自治会等に課税される法人市民税等の減免申請とその手続きの簡素化について聞きたい。

答 減免申請書の提出は、減免の決定が税の公平性の観点から慎重な審査が求められ、収益事業の開始など、課税対象の状況の変化により減免の要件から外れることもあるため、審査に最低限必要な書面の添付をお願いしています。手続きの簡素化のため、減免申請書の記入項目を簡素な内容にするなど、納税義務者の負担軽減に努めています。

問 課税免除制度を整備し、申請書提出を不要としている自治体もあるが、考えを聞きたい。

答 既にそのような運用を行っている自治体について、課税免除の対象など、どのように整理した上で、制度移行したかなどを勉強していきたいと思えます。

問 自治会にはコミュニティ活動交付金の提出口座があるが、それを利用すれば、口座振替届け出を不要とできるか聞きたい。

答 自治会役員の事務負担の軽減はもとより、各課で行っていた振り込みデータの作成も省略できるため、行政側の事務負担の軽減にもつながると考えます。来年度の運用開始に向け、受取口座届の様式を整備し、自治会から口座の提出を求めている部署を全庁的に確認していききたいと思えます。

問 防犯灯電気料金の契約について、自治会から市に契約を移す考えはないか聞きたい。

答 受取口座の一元化と同様、防犯灯を市の契約にすることで、自治会側だけでなく、行政側の事務負担の軽減にもつながるため、防犯対策における自治会と市の負担については、他自治体の事例調査を進める中で、総合的に地域の防犯意識の維持向上につながる方法を検討します。

その他の質問項目

- ・本市が管理する街路樹の考え方について
- ・本市における公園の整備について

本市における放課後児童対策について



自由民主党豊橋市議団 小林憲生 議員



動画でチェック!!

問 放課後児童クラブおよびのびるndeスクールの現状と課題について聞きたい。

答 放課後児童クラブは、現在、公営58クラブ、民営40クラブで活動が進められ、放課後における適切な遊びの場や生活の場の提供を通して子どもたちの健全な育成が図られており、公営と民営がともに連携しながらその役割を適正に果たされているものと認識しています。

一方で、本市における放課後児童クラブの利用者数に目を向けると、働く子育て世帯の増加や働き方の多様化などにより、その数は年々増加傾向にありま

す。安全・安心な受け入れ環境の整備に向け、支援員の確保をはじめとした対応は課題であると考えています。

のびるndeスクールは、大人と子どもとの交流、子ども同士

の交流による子どもの健全な育成と社会性の向上と、多様な体験活動による子どもの能力発掘

を事業の目的の柱として進め、子どもたちからは多くの声を頂き、放課後の貴重な体験活動の場となっています。

一人でも多くの児童に参加してもらい、安心して体験活動に参加してもらえよう、保護者に向けた事業目的・活動内容の周知とともに、現場スタッフの運営スキルの更なる向上についてしっかりと対応していく必要があると考えています。

問 のびるndeスクールを視察した際、教員の方から、現場の安全性に関して話を伺った。課題認識を踏まえた今後の進め方について聞きたい。

答 現場の安全性の確保は、開設当初より非常に重要であると認識しています。今年度、けがや事故、児童対応についての一般研修を年4回、情報交換会および普通救命講習を年1回予定しておりますが、今後も研修体制の充実を図り、現場スタッフの運営スキルの向上に努めます。

一 般 質 問

小中学校における 教員の働き方改革について



公明党豊橋市議員
水野 恵

動画で
チェック!!

問 教員の働き方改革推進の現状と課題について聞きたい。

答 令和4年度に、働き方改革を更に進めるべく、それまでの多忙化対策検討委員会から働き方改革推進委員会へと名称を変更しました。働き方改革推進委員会では、全ての教職員を対象に学校現場における働き方に対する課題や要望についてアンケートを行ったところ、市が行ってきた改革がおおむね好評であり、学校現場に根付いてきていることが捉えられました。ただ、国が示すガイドラインにある月45時間以下を達成できている教職員の割合はあまり変わらず、更なる具体的な改善が必要と考えています。

問 平成30年度より文部科学省は各自治体を通じて小中学校での教員業務支援員の配置を支援している。令和3年8月23日の学校教育法施行規則の一部を改正する省令で名称と職務内容を明確化し、教員業務支援員が学

校教育制度の中に位置付けられたことは大いに注目すべき点だと考えるが、教員業務支援の必要性についての考えを聞きたい。

答 文部科学省は、これまで学校が担ってきた業務について、三つに分類、整理をしています。一つ目は、教師の業務だが負担軽減が可能な業務、二つ目は、学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務、三つ目は、基本的には学校以外が担うべき業務です。

教員業務支援員を導入し、教師の業務だが負担軽減が可能な業務について、適正に業務分担をしていくことにより、教員本来の業務である授業づくりや子どもと向き合う時間の確保をすることが可能となり、教員の働き方改革の一助とすることができると考えています。

その他の質問項目

・特別支援教育の充実を目指した取り組みについて

安全で安心な まちづくりについて



公明党豊橋市議員
宍戸 秀樹

動画で
チェック!!

問 防犯診断士の役割と業務内容について聞きたい。

答 防犯診断士とは、防犯に関する知識と技能を持ち、犯罪が発生しにくい環境をアドバイスする専門家です。市内で犯罪が多く発生している地域を地元の自治会、警察、市の職員とともに、防犯診断士が巡回し、まちの防犯診断を行っています。

問 防犯診断事業の期待される効果について聞きたい。

答 犯罪を行おうとする者が地域に入りにくくする策として、防犯カメラおよび防犯カメラ設置推進区域であることを示すプレート の設置場所や設置数、防犯灯の適切な距離、公園の植栽を目線の高さまでせん定し、見通しを良くすることなどの専門的なアドバイスを、地元自治会の方が現地で直接受けることで、指摘された部分の改善だけでなく、地域住民が自ら地域全体の防犯対策に取り組む契機となり、地域防犯力の向上に効果

があるものと認識をしています。

問 無施錠での盗難の現状と、啓発について聞きたい。

答 無施錠で被害に遭う率は、昨年67・6%と県内平均の54・9%を大きく上回っており、特に自転車盗被害の7割以上が無施錠という状況です。自宅や自転車から離れる場合は必ず鍵を掛けるということを習慣化していただくことが重要と考えます。

今後も防犯教室や警察と連携したキャンペーンなどを引き続き行うことに加え、今年度、大学生と協同で、防犯意識を高めるポスターを作成し、防犯対策モデル地区の駐輪場や集合住宅に掲示し、その効果を図るとともに、次年度以降は市内全域にこの取り組みを展開すること、第6次行動計画の目標である窃盗被害における無施錠率55%以下の実現を目指します。

本市における 学校活動の諸課題について



自由民主党豊橋市議団
本多洋之 議員



動画で
チェック!!

問 PTAからの寄附物品等の受領の現状と対応を聞きたい。

答 学校に対し寄附の申し出があった際は、全て受理前に教育委員会に書面にて協議をし、承認を経た上で行うこととしています。令和4年度にPTAからの寄附として教育委員会に協議のあった件数は合計で37件、金額にして約670万円相当の寄附採納の実績がありました。

しかし、今年のお都市の事例を受け、教育委員会に届け出のあった寄附物品とPTAの決算報告書に記載の寄附物品を照らし合わせたところ、所定の手続きを取らずに寄附を受け入れている事例が複数件あることが判明しました。このため、早急に全校調査を実施し、実態把握に努めていきたいと考えています。

問 学校運営に必要不可欠なのは公費で賄うのが原則と考えるが、寄附採納できる物品に一定の制約を設ける考えがあるのか、本市の認識を聞きたい。

答 寄附採納においては、関係法令に抵触する場合や、その後学校の負担となるような場合を除き、寄附者の意向に沿った形で受け入れ、活用することが第一と考えています。

一方で、学校での活動に要する経費は公費で負担することが原則であり、市民から疑念が生じることがないよう努める必要があると認識しています。

問 一律に集めた年会費を使うべきではないと考えるが、寄附採納に当たり、本市の認識を聞きたい。

答 PTAからの寄附採納に当たっては、現状、資源回収、バザー等の収益によって購入した物品であれば受理できることとしています。全校調査を実施する際には、この点についても改めて確認していきます。

その他の質問項目

・本市における農地の集積・集約について

豊橋市消防団の 今後の在り方について



自由民主党豊橋市議団
尾崎雅輝 議員



動画で
チェック!!

問 消防団における現状と課題について聞きたい。

答 近年、人口減少や少子高齢化の進展、地域コミュニティの希薄化などの社会環境の変化により、消防団員の確保が困難となっており、消防団員数が年々減少している状況です。そのような中においても、一定の消防力を維持することが課題であると認識しています。

問 豊橋市消防団組織等改善協議会における意見内容について聞きたい。

答 主な協議項目として、組織編制や条例定数、消防団活動報酬等の処遇などについて協議されました。組織の編制について、団員確保が厳しいことから、1分団1部の原則を維持しつつ、複数部を有する分団は、今後、統廃合を推進させていくこと、条例定数は1分団15人を基準とすることなどです。

次に、消防団活動に関しては、競技化した訓練や儀礼的な活動

は廃止・縮小・集約を進め、負担軽減を図る一方、基本団員の主な活動は災害対応とし、その活動を向上させるために定期的に消防本部と合同訓練を行うことです。また、担い手として、性別や国籍にとらわれないことや定年延長を検討する必要があること、報酬や装備に関しては、国が示した基準に準じ、改善や充実することが妥当であることとのご意見がありました。

問 今後の消防団の将来像について聞きたい。

答 昨年度実施された豊橋市消防団組織等改善協議会のご意見を踏まえながら、消防団や地域を交え、豊橋市として未来に向けて、豊橋市消防団が進むべき方向性を示すとともに、その実現に向けた計画的かつ実効性のある豊橋市消防団のビジョンを策定し、持続可能な消防団組織の構築と、消防力および地域防災力の向上を目指していきたいと思っております。

一 般 質 問

学校給食費無償化の 取り組みについて

問 浅井市長の公約でもある学校給食費無償化を、市主導で実施する意義について聞きたい。

答 本市を子育てしやすく、教育に手厚いまちとするため、意義のあることと考えています。

問 市長任期中の、学校給食費無償化実現への決意について聞きたい。

答 小学校給食費無償化については、市議会の理解を得て実現していきたいと考えています。

問 昨年10月から今年の9月まで、国の臨時交付金を活用して実施している学校給食費無償化による成果について聞きたい。

答 物価高騰に直面する子育て世帯への支援として成果があったものと認識しています。

問 10月以降の学校給食費無償化の継続に対する市の認識と今後の対応について聞きたい。

答 そのときの社会情勢などにもよりますが、現時点では未定です。



日本共産党豊橋市議団
中西光江 議員



動画で
チェック!!



その他の質問項目

・平和行政推進の取り組みについて

安心して預けられる 保育環境について

問 本市における保育士が長く働きやすい環境づくりについて聞きたい。

答 本市では、保育士の負担軽減により、働きやすい環境を整備するため、園庭の草取りなど、保育以外の周辺業務を行ってもらう保育支援者の雇用をはじめ、園児の登降園管理などのICTの導入や1・2歳児に対する保育士の配置基準を国の基準より手厚いものとするなどで、1人が見る園児の人数を減らし、保育の質の確保とともに、保育士の負担軽減にもつなげています。

また、今年度からは良好な職場環境づくりのため、保育所等の管理者と一般保育士に向けたハラスメント研修の実施や、各園相互の保育環境向上に資する園同士の保育士交流事業を取り入れるなど、保育士が働きやすい環境の構築に努めています。

問 保育士が長く働きやすい環境づくりへの課題と、今後の対応の考えについて聞きたい。



公明党豊橋市議団
井上豪史 議員



動画で
チェック!!

答 近年、保護者の働き方の変化により、子どもを預かる時間が長くなるなど、多様化する保育ニーズに対し慢性的な保育士不足の状況であり、大きな課題であると考えています。そのような中でも、各保育所等では、最大限保護者のニーズに応えるため、限られた人員のやりくりにより対応し、保育士の負担増の一因となっています。

今後の対応の考え方ですが、保育士・保育所支援窓口の設置などにより、潜在保育士の掘り起こしを進め、求職者と求人へのマッチング実績もかなり増えてきているものの、十分な状況ではないので、今後も保育の受け皿や働きやすい環境づくりに必要不可欠な保育士確保の取り組みの拡充を図っていきます。

その他の質問項目

・本市におけるデジタル化の推進について

・本市における高齢者施策について

新型コロナウイルスへの 取り組みについて

問 保健所を設置する自治体が予防計画を策定することが義務付けられ、都道府県の計画を踏まえた予防計画を策定することとされた。本市の予防計画の策定について聞きたい。

答 予防計画に追記される事項は、主に検査の実施体制・検査能力の向上、感染症患者の移送体制の確保、宿泊療養・自宅療養体制の確保、人材の育成・資質の向上や保健所の体制整備などとなります。また、病床の確保・外来体制の整備・検査能力の確保について、数値目標も明記されることとなります。

本市においても、この予防計画の中で、保健所を含めた関係機関の役割を明確にすることで、感染症危機管理における実効性を高め、次の感染症危機への対応に備えることができるものと考えています。

問 実際に危機管理に関しての体制整備が重要になると考えるが、今後策定する予防計画を踏



公明党豊橋市議団
尾林伸治 議員



動画で
チェック!!

まえ、感染症危機管理体制に対する本市の考えについて聞きたい。

答 将来の健康危機の発生を見越し、予防計画の策定を、大規模な食中毒発生などを含めた健康危機や災害時での体制整備につなげていくことが大切であると考えています。体制の整備に当たっては、新型コロナウイルスにおける経験や知見を生かすことに加え、東三河地域の医療提供体制の特性を踏まえることも重要であると考えています。健康危機への対応は、有事体制への迅速な移行が求められるため、保健所を健康危機管理の拠点とする更なる体制整備を計画的に進めていくことが重要であると考えています。

その他の質問項目

・本市の障がい者施策について
・HPVワクチン接種への取り組みについて

新型コロナウイルス後の 教員への業務支援について

問 新型コロナウイルスの5類引き下げ後の学校の感染症拡大防止と教員の業務変化について聞きたい。

答 教員の感染症拡大防止に関する業務は整理されてきている一方、学校生活における制限がなくなったことで、これまで行われていなかった行事が再開されるようにもなっています。単純にコロナ前に戻すのではなく、活動の見直しを図りながら、価値ある行事となるように取り組んでいますので、その過程において、教員の業務が一部膨らんでいることは承知しています。

問 長時間勤務が続いている状況を变えていくには、日常業務を一つ一つ検討していく必要があると考えるが、教員が担っている業務の現状を聞きたい。

答 教員の担う業務は多く、また、多岐にわたっています。毎日慌ただしく過ごしているため、事務作業や授業、行事の準備に取り組むのは、必然的に子どもが下校した後となります。



自由民主党豊橋市議団
土屋祐司 議員



動画で
チェック!!

このような現状を受け、文部科学省は、働き方改革の観点から教員の代表的な業務を三つに整理しました。その中で、学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務や、基本的には学校以外が担うべき業務に多く従事していることは周知のとおりです。教員がその専門性を発揮し、本来の業務に集中できる環境を整えるためには、現在の業務を精査し、スリム化すべきであると考えています。

問 教員業務支援員は、教員の本来業務の円滑な実施に必要な人的支援であるが、導入した場合の期待される効果と課題について、本市の認識を聞きたい。

答 教員業務支援員の導入によって、教員が直接子どもと関わることや、子どもの生きる力を磨き深めるための授業づくりなど、教員でなければできない業務により集中できるようになるものと、その教育的効果については期待しています。

浅井市政の危機管理意識と 対応について



豊橋だいきき会
長坂尚登 議員

動画で
チェック!!



問 反省を踏まえ、休校・登下校判断の今後の対応を聞きたい。

答 市教委として、一斉休校するか否かの判断をしていくための仕組みづくりを、防災危機管理課等と進めていきます。

問 家屋倒壊等氾濫想定区域を見逃した責任について聞きたい。

答 洪水ハザードマップが、3月末のものが6月の広報とよはしまで2か月遅れたという影響があったと認識しています。

問 今後の霞堤地区のレベル5相当の発令について聞きたい。

答 霞地区の方々に、独自の基準を設けて啓発しようということとを既に決めています。

問 今後、4号適用の要請の仕組み化について聞きたい。

答 今後、災害救助法の適用を確かなタイミングで要請できるように、その手順等を愛知県と十分確認していきます。

問 豊橋球場の移設先、浅井市長の危機管理意識を聞きたい。

答 津波到着まで80分程度あり、そういった数値を客観的に考えたときに、時間的余裕はあるであろうとの危機管理意識です。

問 野球場の移設に関し、浅井市長、投票による民意、示すお考えはあるか、聞きたい。

答 先ほどもご答弁しましたが、議会の皆様方にお示しをして、そして議会の皆様にご議論いただいで、ご議決いただいで進めていきます。



その他の質問項目

- ・電子たばこ（個人輸入品含む）について
- ・公職選挙法等を踏まえ、選挙運動に関する浅井市長と副市長の言動について
- ・浅井市長の所信「多選は弊害が大きい」を踏まえ、大村県政への認識と豊橋市への影響について
- ・市長公約実現としての小学校給食費無償化について
- ・新アリーナを豊橋公園に整備しないことについて
- ・ユニチカ跡地に関する第三者調査機関の設置について

本市の工事等に伴う 入札の状況について



自由民主党豊橋市議団
堀田伸一 議員

動画で
チェック!!



問 建設工事および委託業務の落札率の状況や公共工事の施工時期の平準化の認識を聞きたい。

答 契約検査課契約分の過去5年の落札率は、工事はおおむね94～95%程度、委託業務の落札率はおおむね80%前後です。

施工時期の平準化は、設計積算の前倒しにより年度当初での契約に努めるとともに、平成22年度からは道路や河川の維持管理工事で債務負担行為を活用し始め、段階的に工事の種類を増やすとともに限度額についても引き上げてきました。その結果、平準化率は、目標値0・75に対し令和3年度は0・43、令和4年度は0・63と改善しています。

問 落札率についてどのような見直しをしてきたのか聞きたい。

答 工事については、中央公共工事契約制度運用連絡協議会の示す算定率に準拠して算定式を設定し、算定式の改正に合わせて、見直しを行っています。平成30年度の最低制限価格は、予定価

格比で約89%でしたが、現在は約91%となっています。

委託業務については、国が示す基準がなく、平成25年度から市独自の算定式で最低制限価格等を設定し、予定価格比で約71%でした。令和5年度からは愛知県の水準に算定式を見直し、約80%となっています。

問 委託業務の最低制限価格は工事と比べると低いが、今後上昇させる予定があるか。また、市内業者を育てるような制度になっっているか、聞きたい。

答 委託業務の算定方式は、今のところ見直しは考えていません。人件費等の直接経費には、割り落としをしない算定式となっており、その意味で市内業者の育成に資する制度になっていると考えています。

その他の質問項目

- ・民間プール施設等を活用した水泳授業の取り組みについて
- ・郷土ゆかりのクリエイターの活用について

委員会の調査・研究事項

委員会では議案審査だけではなく、市民生活に関わる課題について調査・研究を行っています。
 今回の常任委員会では、令和5年度に調査・研究を行う項目が決定しました。
 ※調査・研究事項は予定であり、委員会を行わない場合もあります。

総務委員会

- ・多目的屋内施設の整備等について
- ・多文化共生推進計画2024-2028(仮称)の策定について

環境経済委員会

- ・豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の改正の考え方について

福祉教育委員会

- ・第9期豊橋市高齢者福祉計画の策定について
- ・豊橋市障害者福祉基本計画2024-2029の策定について
- ・健康とよはし推進計画(第3次)の策定について
- ・感染症予防計画の策定について
- ・豊橋市歯科口腔保健推進計画(第2次)の策定について
- ・第2期豊橋市自殺対策計画の策定について
- ・豊橋市民病院経営強化プランの策定について

建設消防委員会

- ・豊橋総合動植物公園経営改革の考え方について
- ・豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用構想の策定について
- ・豊橋市消防団ビジョン(仮称)の策定について
- ・豊橋市立地適正化計画の評価・検証について
- ・盛土規制法の規制区域の指定の考え方について
- ・長期未整備公園見直し計画(仮称)の策定について

月日	時間	会議	場所
8月21日(月)	10時	議会運営委員会	西館7階
28日(月)	10時	議会運営委員会	
29日(火)		請願・陳情締切り(~17時まで)	
9月1日(金)	10時	議会運営委員会	西館7階
4日(月)	10時	▶ 本会議(一般質問など)	議場
5日(火)	//	▶ // (//)	
6日(水)	//	▶ // (//)	
13日(水)	10時	☐ 常任委員会(議案審査など)	西館7階
	13時	☐ //	
14日(木)	10時	☐ //	
	13時	☐ //	
15日(金)	10時	☐ 一般会計予算特別委員会(補正予算審査など)	西館7階
19日(火)	10時	☐ 決算特別委員会(決算審査など)	
20日(水)	//	☐ //	
22日(金)	//	☐ //	
25日(月)	//	☐ //	
28日(木)	10時	議会運営委員会	議場
29日(金)	13時	本会議(議決など)	



議会を動画で見よう!
 ▶マークの日にケーブルテレビ・インターネットで本会議の生中継、
 ☐の日にYouTubeで委員会の生中継を配信します。市議会ホームページまたはQRコードからアクセスしてください。



議場：西館8階
 ※日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局(51-2920)までお問い合わせください。

台風や雨で屋根・外壁がボロボロになって「困ったな〜」と気になっている方へ
「雨漏り」 「困ったわ〜」「どうしようかな〜」にお応えします!
 注:地域密着で私達ほど丁寧にささいな事でも必要ならば何度でも足を運び下見や見積りを無料で行います(出張料なし)

★外壁のヒビ割れ補修 ★瓦の破損の修理 ★トタン修理 ★床がギシギシ床鳴り
 ★シミのある天井の補修 ★屋上やベランダ床の防水塗装 ★バタバタとうるさい波板の交換
 ★瓦の漆喰補修 ★ボタボタ雨漏り修理・交換 ★軒天のシミ 早く対応します!調査・見積りは無料!

今すぐお電話! 通話料 無料 フリーダイヤル 0120-492-713

“職人集団” ありがとうの家 水・祝定休 AM9:00~PM6:00受付
 〒441-8105 豊橋市北山町字西ノ原40-78 FAX:0532-29-8910 E-mail:shio2030@tees.jp

広告 ※豊橋市議会だよりに掲載する広告を募集しています。(広告掲載の申込に要する費用は、広告主負担とします。) 詳しくは市議会ホームページの広告掲載募集要項をご覧ください。